

日時：2026年3月9日（月）
13時30分～14時30分

場所：研究所3号館 セミナールーム

演者：山本 雅哉 先生

東北大学大学院 工学研究科
生体材料システム学講座 生体機能材料学分野 教授



演題：マイクロプラスチック生体影響評価を目指した
生体組織モデルの構築

演題要旨

近年、マイクロプラスチックやさらに小さいナノプラスチックの生体影響が懸念されている。ヒトに対する影響については様々な議論があり、事例の蓄積が進められている。われわれは、細胞や生体組織レベルでの直接的な影響に着目し、実験的に作製したナノ・マイクロプラスチックモデル粒子が及ぼす生体影響について、様々な細胞を用いて検討を進めている。そのひとつとして、本講演では、脱細胞化マトリックスを足場材料として利用して作製した血液脳関門モデルおよび腸管モデルに対してモデル粒子を曝露後の生体影響について紹介する。さらに、細胞とモデル粒子との相互作用に及ぼすタンパク質吸着挙動の影響についても議論する。